

学校だより 6月号

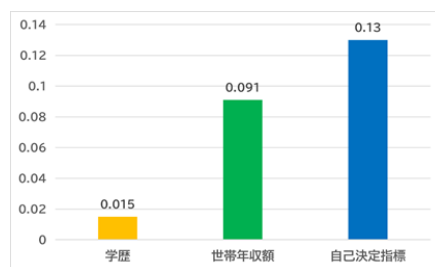
発行日 令和7年5月30日
北の台中学校長

学校教育目標 「美しい人」
重点目標 「自分で考え自分で決める」～ウェルビーイングの向上を目指して～

「人間は自分の人生を描く画家である。あなたを作ったのはあなた。」

これからの人生を決めるのもあなた」
心理学者アルフレッド・アドラー

5月14日に先進国などの子どもの幸福度についてまとめたユニセフ＝国連児童基金の報告書が発表されました。日本は子どもの身体的な健康が最も高い一方、精神的な幸福度が低く、総合順位は前回より順位6つ上げて36か国中14位でした。政府は精神的な幸福度の低さに着目し、子ども達の居場所づくり等の取組みを推進していくとのことでした。子どもたちが幸福であってほしいと願うのは、万国共通、親も教師も願いは一つです。



【主観的幸福感を決定する要因の重要度（標準化係数）】

ここで、興味深い研究があるのでご紹介します。

神戸大学・西村和雄特命教授と同志社大学・八木匡教授は日本人の幸福度に何が影響をしているのか、国内約2万人へのアンケート調査を行いました。その結果、幸福感を決定する要因としては、所得、学歴よりも自己決定が強い影響を与えるということがわかったということです。幸福感は、自己の目標を達成できたときに感じる達成感によって得られる喜びなどによって決定されます。進学、就職などの進路選択において、自己決定を行った人は、生涯にわたって前向き志向が高く、幸福感を覚えるということです。

本校では、今年度の重点目標を「自分で考え自分で決める」としています。あらゆる場面で子ども達が自己決定できるように支援をしています。例えば、校外学習では、係担当の生徒が自分たちで次のようなスローガンを考

えました。1年生の遠足は5月に実施しましたが、振り返りの作文からもグループで協力することの大切さを学んだことが読み取れます。

6月は2年生、3年生が学びの場を校外に求めます。ここまでの準備段階で拝観場所、食事場所など子ども達は様々な自己決定を繰り返しています。集団行動ですから、それぞれの思いをもった中で、合意形成に至るまでの話し合いが幾度と

1年生 愛川ふれあいの村への遠足

「グループで協力して、大自然への理解を深めよう」

2年生 鎌倉への遠足

「公共の場で協力し、歴史にふれ班行動を楽しもう in 鎌倉」

3年生 京都への修学旅行

「そうだ、京都へ行こう -ルールを守って学んでや～」

なく重ねられました。前述の研究では、自己決定が達成できたとき、人は幸福感を強く覚えるということもわかっています。自分たちで決定したことを行動に移す日がいよいよ近づいてきています。校外での学びがそれぞれにとって意義深いものになるようにしていきたいですね。

参考：RIETI（経済産業研究所）のプロジェクト「日本経済の成長と生産性向上のための基礎的研究」

<https://www.unicef.or.jp/news/2025/0081.ht>

＜令和 7 年度 6 月行事予定＞

日	曜	校内行事	清掃
1	日		
2	月	朝会 眼科検診	
3	火	専門委員会（③6月）	○
4	水		
5	木		
6	金	2年鎌倉遠足 3年実力テスト（英国数理社）	○
7	土		
8	日		
9	月	腎臓検診	
10	火		○
11	水	生徒総会（5校時）	B
12	木	キャリア教育講演会（1年56校時）総合「地域」の授業（2年6校時）	
13	金	心臓検診 3年修学旅行（1日目）	○
14	土	3年修学旅行（2日目）	
15	日	3年修学旅行（3日目）	
16	月	3年代休（修学旅行）	
17	火	3年代休（修学旅行）	○
18	水		
19	木		
20	金		○
21	土	PTA 役員・運営委員会	
22	日		
23	月	学習会	
24	火	学習会	○
25	水	期末テスト	
26	木	期末テスト	
27	金		○
28	土		
29	日		
30	月		

授業日数 21 日

最終下校 6月 18:30